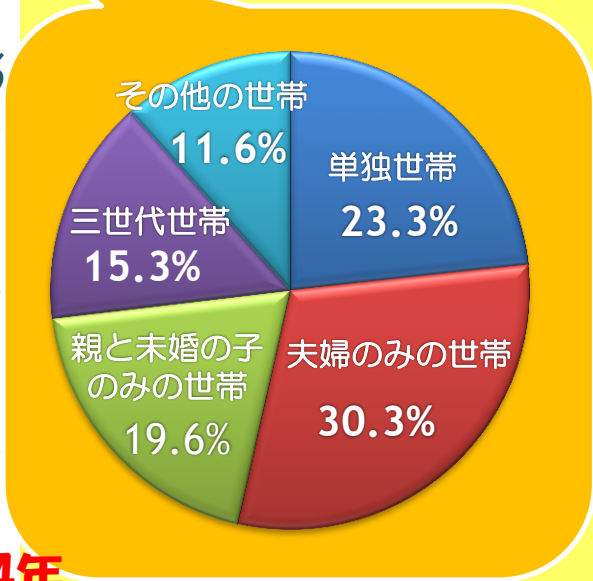
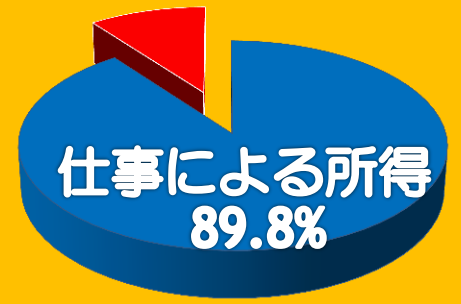
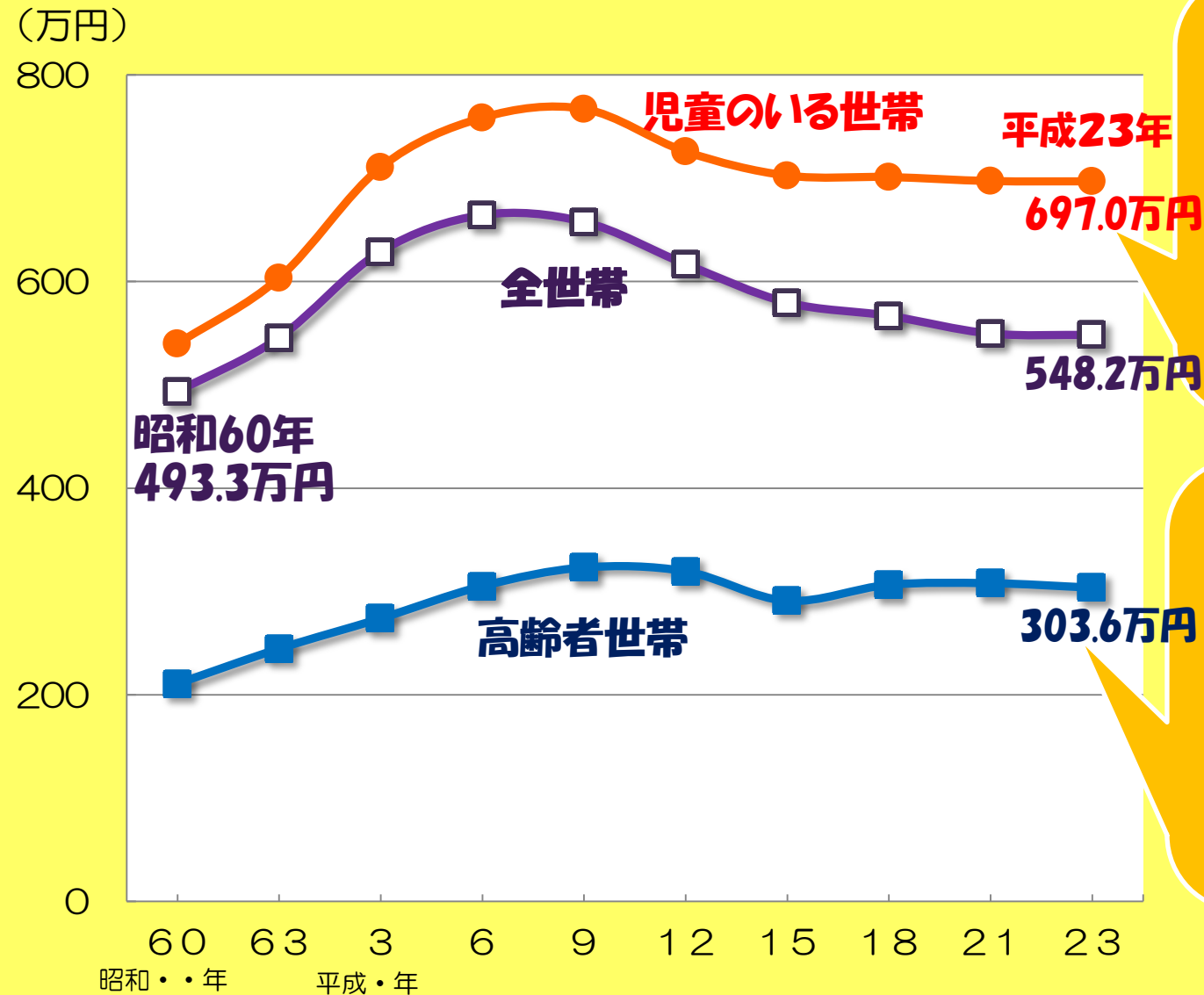


- 児童のいる世帯の割合は低下傾向
- 65歳以上の者のいる世帯の割合は上昇傾向で
単独世帯と夫婦のみの世帯の割合が高い



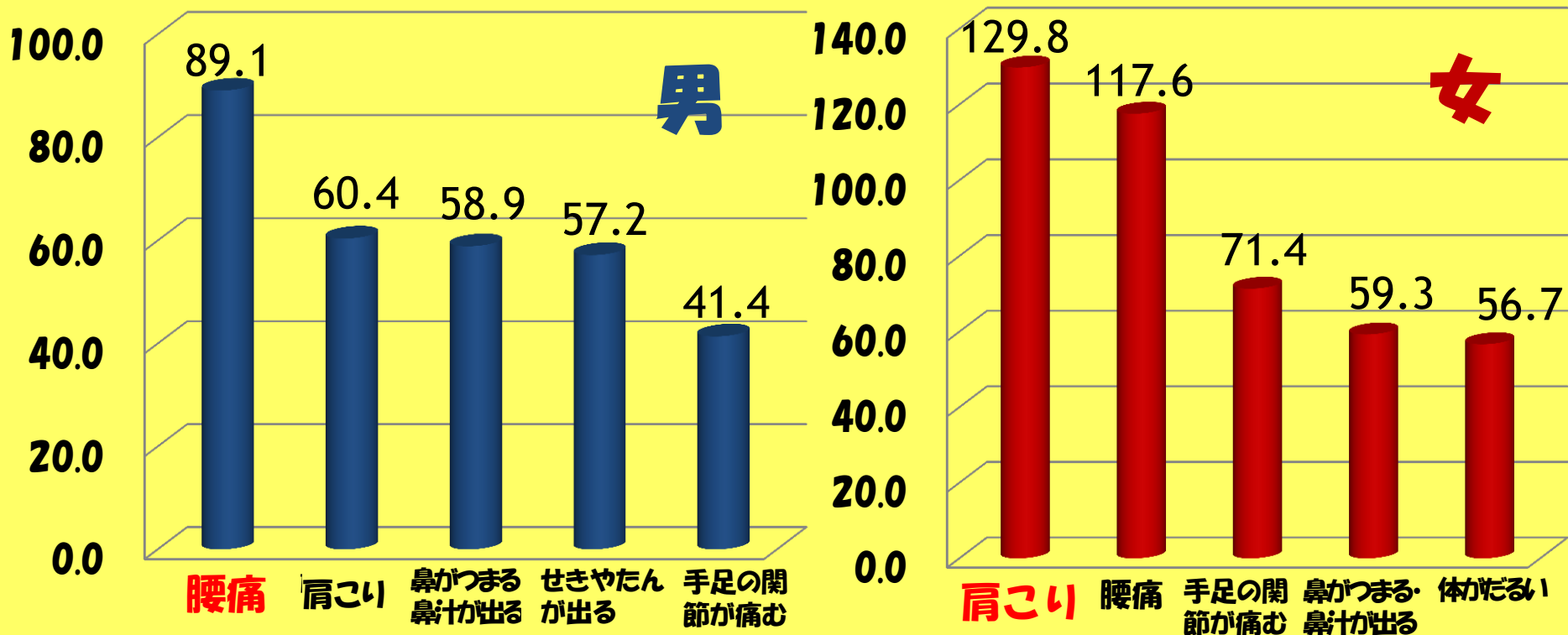
- 1世帯当たりの平均所得金額は548万2千円
- 児童のいる世帯では仕事による所得が約9割を占める
- 高齢者世帯では年金などの所得が約7割を占める



● 男性は「腰痛」、女性は「肩こり」を訴えている方の割合が最も高い

性別にみた有訴者率（人口千対）の上位5症状

平成22年調査

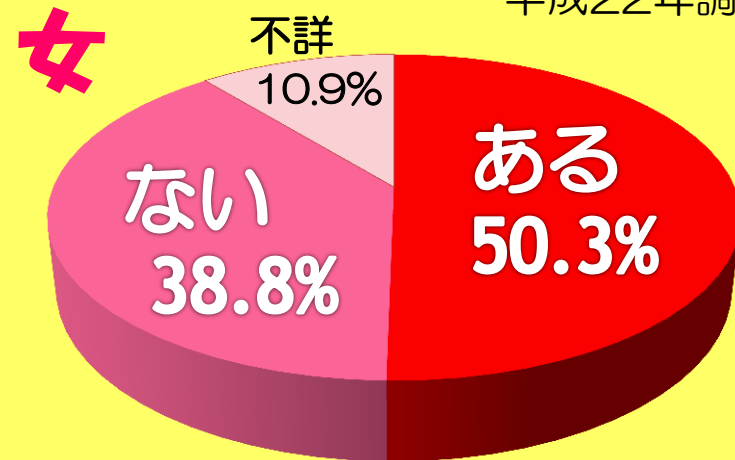
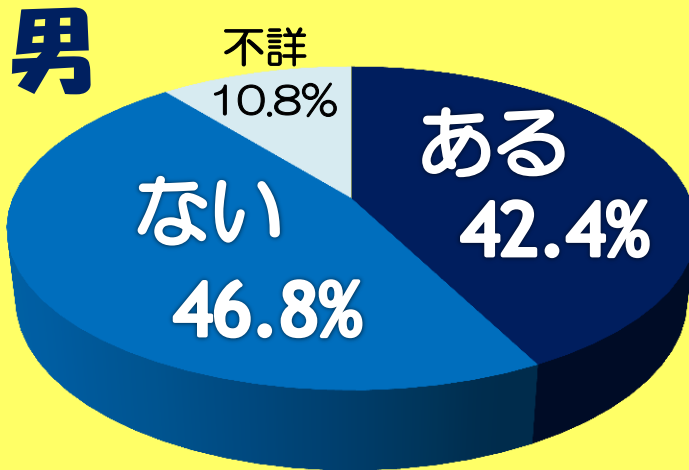


※ 有訴者とは、調査対象者（入院者を除く。）のうち、病気やけがなどで自覚症状のある者のことをいいます。

- 男性は約4割、女性は約5割が悩みやストレスがある
- 悩みやストレスの原因をみると、男性は「自分の仕事」、女性は「収入・家計・借金等」が第1位

悩みやストレスの状況

平成22年調査



悩みやストレスの原因

第1位 自分の仕事

第2位 収入・家計・借金等

第3位 自分の病気や介護

第1位 収入・家計・借金等

第2位 自分の仕事

第3位 自分の病気や介護

詳しい調査結果は下記リンク先をご覧ください。

- **平成24年国民生活基礎調査の概況**
- **政府統計の総合窓口(e-Stat)**